

<質問①>

本講演を聴講し、満足しましたか？(該当する番号に○をお書きください)

(①満足している ②どちらでもない ③満足していない)

35 0 1 ※回答なし→1名

<質問②>

本講演の内容は、理解できましたか？(該当する番号に○をお書きください)

(①理解できた ②どちらでもない ③理解できなかった)

34 2 0 ※回答なし→1名

<質問③>

本講演のような、FD 活動に関する講演は、今後も必要だと思いますか？(該当する番号に○をお書きください)

(①必要である ②どちらでもない ③必要ではない)

35 0 0 ※回答なし→2名

<質問④>

今回のようなFD講演会を今後も開催するとすれば、どのような時期でどのような内容を期待されますか？

時期

- ・いつでも随時行って欲しいです。
- ・授業がない長期休み中が良いです。
- ・授業の少ない時期(9月や2・3月)
- ・この時期が良いです。
- ・秋の教授会の日の前に
- ・2月新生が入る前もしくは入った後、忙しくない時
- ・この時期が良い。
- ・先生方の無理のない時期で
- ・今回と同じが良い。
- ・7月～8月
- ・年度はじめの頃が良い。
- ・9月(授業がない頃)
- ・9月後半くらいがいいのだが、講師の都合で他の時でも良い。
- ・以前のように夏休み(9月)の方が時間的に余裕が持てるので、その時期に開催をお願いしたい。
- ・学生の休業期間(夏休み等)を希望します。
- ・入試に関する試験日や合格発表日前3日間を避けた10月～11月
- ・年末の12月くらいが良いのではないかな？
- ・12月ごろ
- ・この時期が良い。
- ・いつもと一緒に

内容

- ・今回のような発達障害のある学生への対応についてもっと聞きたいです。

- ・今後も発達障害に関する内容が良いと思います。
- ・同じ内容(発達障害について)
- ・学生支援
- ・継続、当事者の声を聞いて深めることも大切であろう。
- ・現場で活用できるものを是非
 - ① 大橋敏子博士・外国人留学生のメンタルヘルスと危機介入
 - ② 大学でのICT活用(授業、キャリア支援、etc・・・ オンライン学修システム)
- ・留学生の受入れ方について
- ・学生のボランティア活動の在り方、その有効性について
- ・過去の事例について、具体的なケーススタディを行いたい。(学生への対応の仕方について)
- ・今回みたいな良い講演会なら良いです。
- ・前回、今回のFD講演会で障がいの支援については、国・大学としての方向性が明らかになったと思うので、大学としてどう取り組むか検討すべき段階だと思うので、ぜひ障害支援については、とりあえず一旦終えてはどうか？
- ・次回は、文科省認定評価で問題となった点を考える場としてはどうでしょうか？
- ・学習意欲のない学生にどう対応すれば良いかについて
- ・就学困難な学生についての講演会
- ・e-ポートフォリオの実例
- ・IRの構築・運用について
- ・発達障害関係
- ・発達障害、身体障害などについても理解を深めたいので、発達障害以外の講演も聞きたいです。
- ・授業の教授法

<質問⑤>

その他、何かご意見・感想がありましたら、お書きください。

- ・質疑応答の時間をもう少し増やした方がよいと思いました。
- ・学生への対応で、考える(悩む)ことがあったので、良い勉強になりました。
- ・組織としても必要な内容だった。
- ・欠席者がいないような配慮が必要だと思う。
- ・FD推進委員の皆様、職員の皆様、ありがとうございました。
- ・もっとゆっくり話して欲しいが・・・
- ・全員の教員に聞いて欲しい(連休明けで休みの先生や授業で出席されない先生が多い)。宮崎県は障がいと書きますが、障害と書いていることにとまどいを感じます。
- ・今回の講演をきっかけに少しずつ勉強したいと思いました。今後活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・非常に勉強になりました。大変、ありがとうございました。